

平成 24 年度いちのみやリバーサイドフェスティバル事業報告書

- 【開催日】 平成 24 年 5 月 3 日（木）～5 月 5 日（土）
- 【場 所】 愛知県一宮市 138 タワーパーク
- 【来場者数】 147,291 人（主催者発表）
- 【内 容】 ゴールデンウィークの 5 月 3 日～5 日までの 3 日間「いちのみやリバーサイドフェスティバル」が行われました。予報で雨が心配されましたが、期間中は好天が続き、大勢の来場客で賑わいました。
- 今年度のイベントテーマは「エネルギーを考えよう」で大震災の後の電力不足、今後のエネルギー供給・需要のあり方を考えるテーマが設定されました。太陽光・風力などのエネルギー関連ブースやエコカー・スマートハウスなどの省エネ関連ブースなど新たなブースが多数出展していました。この他にも中学生のブラスバンドや郷土芸能の披露、キャラクターショーなどのイベントや、衝突実験車による時速 5Km の衝突体験、地震体験車で体験、スモークハウスを利用した煙体験、消防の放水体験などが実施され、連日賑わっていました。
- 木曽地域からは、郡内出店者のご協力により木曽路の大物産展を実施しました（そば、漬物、おやき、ごへー餅、中華まん、木工製品等）。また地方事務所にも協力いただき、木曽牛コロッセや、飲むヨーグルト等の物販を中心に木曽の PR をしました。アルクマキャラバン隊も参加して信州木曽を PR しました。
- 木曽広域連合では、上下流交流事業として、町村の委員にも参加協力をいただき、木工体験、水を使ったゲームを通しての森林整備の PR、観光 PR を実施しました。またエネルギー関連ブースを設け、木曽地方事務所からペレットストーブを借りて木材・ペレットの PR を図り、また電力会社に協力をいただき木曽川で行われている水力発電の PR をしました。木工体験では木曽ひのきの箸づくり体験を行いました。自分だけの木曽ひのきの箸が作れるとあって、多くの方が体験をされ、また完成した箸を満足そうに持ち帰っていました。（木工体験者：153 名）また木工製品の販売を行ったところ、木曽に行かなければ買えないような木曽ヒノキ等の木工品（寿司桶や箸類）を中心に売れ行きは好評でした。（物販売上：74,430 円）普段何気なく飲んでいる水の大切さ、森林整備の必要性を PR するために、ウォーターコインゲームを実施しました。1 回 30 円のゲーム料をいただき実施しましたが行列ができる盛況ぶりでした。ゲームを楽しみながら水の特徴・大切さを実感いただき、良い水には森林整備が欠かせないことを PR しました。（基金積立額：17,580 円。約 600 名実施）本年度も「榎霧しな」さんから御嶽山の伏流水の提供をいただき、無料試飲を実施しました。木曽のおいしい水を PR し、また観光 PR をすることで木曽の良さを感じていただくことができました。

木曽広域連合のブース



木曾の出展者の様子

